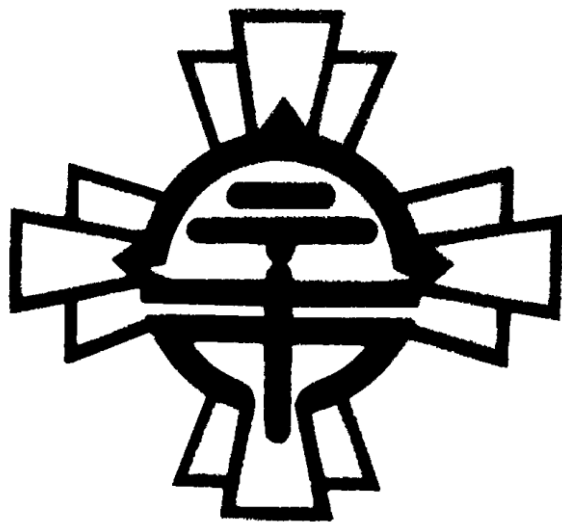


令和5年度

「運営に関する計画」



大阪市立今市中学校

令和5年4月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校の課題として、「**生徒の学力の向上**」「**仲間を思いやる心を育てる**」「**生活指導の安定**」の3点があげられる。本校は、個性を尊重し、互いに敬愛協力する教育活動を推進し、保護者・地域と連携を深め、豊かな学校生活の実現に努めてきた。

「**生徒の学力の向上**」のため、**学力分析の活用・授業改善、言語活動の充実、ICT機器の活用**を中心に進めていきたい。

学力分析の活用・授業改善に関しては、「全国学力学習状況調査」、「大阪市小学校学力経年調査」、「中学生チャレンジテスト」の調査結果を活用し、生徒の状況を把握し、それぞれの教科指導を充実させていく。

言語活動の充実は、全学年で実施するリーディングスキルテストの結果を活用し、全教科において読解力が高まるよう取り組んでいく。

ICT機器の活用は、1人1台学習用端末を活用した授業を実施する。また、プログラミング教育を推進する。

「**仲間を思いやる心を育てる**」ために自主的活動を増やす。この2年間新型コロナウイルス感染症のため、十分な活動ができなかった。今年度は学校生活において生徒自身がお互いに関わる自主的活動に力を入れたい。

「**生活指導の安定**」であるが、本校は現在落ち着いた状況で学校生活を送ることができている。教職員の絶え間ない努力の結果であるが、この状態が長く続き安定するために、生活指導体制を再構築し、学年・学校が一つになって指導にあたっていく。また、「**小中連携**」の要として行ってきた小学校専科については、今年度も数学・保健体育科で継続して実施し、「中1ギャップ」の防止に努める。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

○令和7年度全国学力・学習状況調査において、「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に答える生徒の割合を82%以上にする。

○令和7年度全国学力・学習状況調査において、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に答える生徒の割合を95%以上にする。

○令和7年度全国学力・学習状況調査において、「自分には、良いところがありますか」に対して、肯定的に答える生徒の割合を77%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和7年度全国学力・学習状況調査における平均正答率の対全国比を国語・数学ともに1.00以上にする。

○令和7年度大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル(英検3級)相当以上の英語力を有する中学3年生の割合(4技能)を56%以上にする。

○令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女とも1.01以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和 7 年度末本市調査における「授業日において学習用端末を使用した割合(ただし、学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く)」を 100%にする。
- 令和 7 年度末本市調査において、教員の勤務時間の上限に関する基準を満たす教職員の割合を基準 1 では 49.7%以上に、基準 2 では 75.4%以上にする。
- 学校協議会を中心とし、積極的に情報発信を行い、学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、学校行事の運営など、保護者や地域の人との協働による活動を行う。

中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標（中学校）

- 年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を 80%以上にする。
- 年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。

学校園の年度目標

- 自主活動を通じて仲間を思いやる心を育てる。
- ①令和 5 年度後期の校内調査「部活動や係・委員会活動に積極的に参加している」において、肯定的に回答する生徒の割合を 85%以上にする。
- ②令和 5 年度後期の校内調査「学校生活をとおして人を思いやる心が育っている」において、肯定的に回答する生徒の割合を 85%以上にする。
- 生徒が安心して楽しく通える学校をつくる。
- ①令和 5 年度後期の校内調査「学校のルールを守っている」において、肯定的に回答する生徒の割合を 90%以上にする。
- ②令和 5 年度後期の校内調査「学校生活が楽しい」において、肯定的に回答する生徒の割合を 85%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標(中学校)

- 年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を 40%以上にする。
- 中学校チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。
- 大阪市英語力調査における C E F R A 1 レベル相当以上の英語力を有する中学 3 年生の割合（4 技能）を 50%以上にする。
- 年度末の校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する生徒の割合を 50%以上にする。

学校の年度目標

- 基礎学力を定着させるとともに教員の授業力を向上させる。
- ① 令和 5 年度後期の校内調査「先生方は教え方をいろいろとわかりやすく工夫している」において、肯定的に回答する生徒の割合を 85%以上にする。

②令和５年度後期の校内調査「授業がわかりやすい」において、肯定的に回答する生徒の割合を85%以上にする。

③令和５年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女とも1.00以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標(中学校)

○令和５年度末本市調査における「授業日において学習用端末を使用した割合(ただし、学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く)」を95%にする。

○令和５年度末本市調査において、教員の勤務時間の上限に関する基準を満たす教職員の割合を基準１では35%以上に、基準２では60%以上にする。

学校園の年度目標

○プログラミング教育を推進し、教材の整備を行い、授業を実施する。

○ゆとりの日を年間７回以上設定・実施する。

3 本年度の自己評価結果の総括

(様式2)

大阪府立今市中学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>全市共通目標(中学校)</p> <p>○年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を80%以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。</p> <p>○年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○生徒が安心して楽しく通える学校をつくる。</p> <p>①令和4年度後期の校内調査「学校のルールを守っている」において、肯定的に回答する生徒の割合を90%以上にする。</p> <p>②令和4年度後期の校内調査「学校生活が楽しい」において、肯定的に回答する生徒の割合を85%以上にする。</p> <p>○自主活動を通じて仲間を思いやる心を育てる。</p> <p>①令和4年度後期の校内調査「部活動や係・委員会活動に積極的に参加している」において、肯定的に回答する生徒の割合を85%以上にする。</p> <p>②令和4年度後期の校内調査「学校生活をとらえて人を思いやる心が育っている」において、肯定的に回答する生徒の割合を85%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を図る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活指導体制を再構築し、学年全体・学校全体で指導にあたる。 ・生徒の些細な変化を見逃さないために、「心の天気」を活用する。 <p>指標 令和4年度後期の校内調査「学校のルールを守っている」において、肯定的に回答する生徒の割合を90%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて、生徒が自主的に活動し、達成感をえられるように、「学校行事」を企画・推進する。 <p>指標 令和4年度後期の校内調査「学校生活が楽しい」において、肯定的に回答する生徒の割合を85%以上にする。</p>	

<p>取組内容③【基本的な方向 2、豊かな心の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の授業、キャリア教育、人権教育を積極的に行い、社会生活の基礎となる「人を思いやる心」を育てる。 	
<p>指標 令和 4 年度後期の校内調査「学校生活をととして人を思いやる心が育っている」において、肯定的に回答する生徒の割合を 85%以上にする。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

大阪市立今市中学校 令和 5 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<p>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標(中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を 40%以上にする。 ・中学校チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。 ・大阪市英語力調査における C E F R A 1 レベル相当以上の英語力を有する中学 3 年生の割合 (4 技能) を 50%以上にする。 ・年度末の校内調査における「運動 (体を動かす遊びを含む) やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する生徒の割合を 50%以上にする。 <p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基礎学力を定着させるとともに教員の授業力を向上させる。 ①令和 4 年度後期の校内調査「先生方は教え方をいろいろとわかりやすく工夫している」において、肯定的に回答する生徒の割合を 85%以上にする。 ②令和 4 年度後期の校内調査「授業がわかりやすい」において、肯定的に回答する生徒の割合を 85%以上にする。 ○令和 4 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女とも 1.00 以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
<p>取組内容①【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の経年比較テスト、中学校でのチャレンジテストなどの結果を分析・活用し、それぞれの教科指導を充実させる。 ・全学年でリーディングスキルテストを実施し、全教科で生徒の読解力を育成する。 <p>指標 令和 4 年度後期の校内調査「授業がわかりやすい」において、肯定的に回答する生徒の割合を 85%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、生徒間の「学びあい」を指導の主眼においた活動を教科指導に取り入れていく。</p> <p>指標 令和 4 年度後期の校内調査「生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 80%以上にする。</p>	

<p>取組内容③【基本的な方向 5、健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健体育の授業において、補強運動、柔軟運動の充実を図り、筋力および瞬発力の育成に努める。 ・保健体育に対する苦手意識を減らすために専門的指導を行うことで運動能力を高めるなど結果を出し、生徒の関心・意欲を高める工夫を行う。 <hr/> <p>指標 令和 4 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女とも 1.00 以上にする。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

大阪市立今市中学校 令和 5 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】 全市共通目標(中学校) 【ICTの活用に関する目標】 ・令和 4 年度末校内調査における「授業日において学習用端末を使用した割合(ただし、学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く)」を 95%にする。 【教職員の働き方改革に関する目標】 ・令和 4 年度末本市調査において、教員の勤務時間の上限に関する基準を満たす教職員の割合を基準 1 では35%以上に、基準 2 では60%以上にする。 学校の年度目標 ○プログラミング教育の教材の整備を行い、授業を実施する。 ○ゆとりの日を年間 5 回以上設定・実施する。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【基本的な方向 6、DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】 ・ICT 機器、1 人 1 台学習用端末を活用した授業の実施。 ・AI ドリルの有効的な活用方法を研究し、教育環境を整える。 ・プログラミング教育を推進し、教材の整備を行い、授業を実施する。	
指標 令和 4 年度末校内調査における「自分自身が ICT 機器(1 人 1 台学習用端末)を授業で使うことにより、授業に対する興味関心が高まった」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 73%以上にする。	
取組内容②【基本的な方向 7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 働き方改革を推し進めるために、教職員の働きやすい環境を整備する。	
指標 ゆとりの日を年間 7 回以上設定・実施する。	
取組内容③【基本的な方向 9、家庭・地域と連携・協働した教育の推進】 学校や地域を拠点とした学習機会の充実、登下校の見守り活動、地域の交流行事など、学校・地域・家庭の連携による取組を推進する。	
指標 学校協議会を中心とし、積極的に情報発信を行い、学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、学校行事の運営など、保護者や地域の人との協働による活動を行う。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点